

インフォメーション グラフィックス

エリック K. メイヤー 著
猪股裕一 監修
山口美紀夫／鈴木眞里子 訳

Designing Infographics

By Erick K. Meyer

Copyright ©1997 by Erick K. Meyer

Copyright ©1997 by Hayden Books

Japanese language edition copyright ©1998 by Impress Group (Mdn Corporation) and Prentice Hall Japan. All rights reserved.

Authorized translation from the English language edition published by Hayden Books, an imprint of Macmillan Computer Publishing USA.

本書はインプレスグループ(株式会社エムディエヌコーポレーション)が株式会社プレンティスホールとの契約により翻訳したもので、日本語版に関する権利、責任はインプレスグループ(株式会社エムディエヌコーポレーション)が有します。

本書のいかなる部分についても、株式会社エムディエヌコーポレーションとの書面による事前の同意なしに、電気、機械、複写、録音、そのほかのいかなる形式や手段によっても、複製および検索システムへの保存や転送は禁じられています。

本書の内容は参照としてのみ使用されるべきものであり、予告なしに変更される場合があります。また株式会社エムディエヌコーポレーションがその内容を保証するものではありません。本書の内容に誤りや不正確な記述がある場合も、株式会社エムディエヌコーポレーションは一切の責任を負いません。

Apple, Mac, Macintosh, Power MacintoshはApple Computer, INC.の登録商標です。AppleScriptはApple Computer, INC.の商標です。Microsoft, WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。Windows NTは米国およびその他の各国のMicrosoft Corporationの商標です。Adobe, Adobe Illustrator, Adobe Photoshopは、各国で登録されているAdobe Systems Incorporatedの商標です。そのほかすべてのブランド名と製品名、商標、および登録商標は、それぞれの所有者の所有物です。

著者について

エリック・K・メイヤーは、米国イリノイ州アーバナ・シャンペインにあるイリノイ大学のジャーナリズムの客員教授であると同時に、ビジュアルジャーナリズムとオンラインパブリッシングを研究するリサーチ/コンサルティング企業“ニュースリンク・アソシエイツ”の創立者兼マネージングパートナーでもある。また、“アメリカン・ジャーナリズム・レビュー”との共同編集/共同出版により、オンラインニュースリソース“AJR NewsLink”([http //www.newslink.org](http://www.newslink.org))の発行も行っている。

さらに、デザインに関するリサーチャー兼コンサルタントとして、全世界の出版社やテレコミュニケーション企業125社以上と関わり、数多くの専門/業界組織に対して講義を行っている。大学教授やコンサルタントとして教える側にまわる20年以上前から、彼はプロのジャーナリストとして第一線で活躍していた。ジャーナリストとして最後に勤めたのが、ミルウォーキー・ジャーナル紙のニュースフォト兼グラフィックスエディターであった。ライティング、デザイン、テクノロジーの応用に関して、地域的あるいは全米的な賞を多数受賞している。

監修者まえがき

「大胆」にもこの本を翻訳して日本の方々にも読んで頂こうと決めた。

それは世の中が情報をデザインする時代に突入したと感じたからに他ならない。そして本書は情報をデザインすることがインフォメーション グラフィックスであると規定した。しかもその歴史は第1章のインフォメーション グラフィックス小史にもあるように、「一般的な認識としては“USAトゥデイ”が登場する1982年まではあまり利用されていなかった」と米国でさえその歴史は浅い。そこには新聞の影響力が大きかったことも伺える。

しかし大胆と述べたのには他の理由がある。それは多大な労力を傾けて頂いた翻訳者山口美紀夫氏、リライトを引き受けて頂いた鈴木眞里子氏の御苦勞にも現れている。つまり、この筆者はイリノイで教鞭をふるうかたわらジャーナリストでもある。そして文中いたるところにそのジャーナリスティックな味と癖は埋め込まれていた。そして日本にはなじみのうすい「インフォメーション グラフィックス」に関する言葉の定義があまりに不足していた。その結果、本書の日本語版では用語について様々な討議がなされた。

日本では情報をデザインするためのインフォメーション グラフィックスをテーマにした解説書は他にはないと認識している。もちろんデザインを主題とした、造形から見た参考書や技術書は存在している。しかし情報を発信するため、メッセージをビジュアル・メッセージにするプロセスを全ての観点から解明したのは本書が最初のものであろう。その理由はなんだろう。それは日本の代表的な新聞と“USAトゥデイ”を見比べてみれば歴然である。米国のそれはビジュアルで情報をわかりやすく絵解きをしているのに対し日本では文字と写真しかない。つまり日本はこれからなのである。かたや日本も米国も世界も隔たりのないインターネットの世界も爆発的に膨張を続けている。そんな状況の中で日本も至急に情報をデザインする必要に迫られている。その目的に合った本書は情報を可視化する仕事に携わる方々にとって開眼の書になるだろう。

本書における言葉の定義はなるべく難解な主題の理解を妨げないように注意をした。しかし筆者の定義からはずれないように新たな定義もなされた。結果としてなるべく注意をはらって日本語化もしくはカタカナ表記された。参考までに案件になった語彙の対照表を316ページに記しておく。

本書の出版にあたり主題に精通された多摩美術大学教授の太田幸夫先生、同助教授高味寿雄先生の多大な御協力に感謝する次第である。

猪股裕一

目次概要

はじめに	1
------------	---

Part I メディア

Chapter 1 インフォメーショングラフィックス小史	7
Chapter 2 グラフィックスを使うかどうかの見極め方	35
Chapter 3 ポイントを理解させるコツ	49
Chapter 4 グラフィックスのための情報収集術	71
Chapter 5 知っておきたい統計の倫理	81

Part II テクニック

Chapter 6 ビジュアル的に考えることにしよう	97
Chapter 7 グラフィックスソフトウェア概観	107
Chapter 8 コンピュータで描くということ	121
Chapter 9 高度な描画テクニック	129
Chapter 10 グラフィックスの専門用語	137

Part III フォーム

Chapter 11 グランスボックス	151
Chapter 12 グラフ	177
Chapter 13 マップ	213
Chapter 14 ダイアグラム	231
Chapter 15 シーケンス	247
Chapter 16 イラストレーション	261

Part IV 専門知識

Chapter 17 統一感のあるデザインに いかにグラフィックスを組み込むか	265
Chapter 18 グラフィックス、デザイン、法律の微妙な関係	273
Chapter 19 インターネットにおけるグラフィックスの役割	285
Appendix A 推奨関連資料	299
Appendix B 調査の詳細	303
Appendix C 参考文献一覧	309
索引	319

目次詳細

はじめに	1
------------	---

Part I メディア

Chapter 1 インフォメーショングラフィックス小史	7
はじめに…	8
グラフィックスのABC	9
グラフィックスへのグラフの挿入	10
グラフィックスの理想境を求めて	12
旧世界で開花した新手法	14
単純さを失うな	15
発展段階の紆余曲折	20
知識の林檎	30
Chapter 2 グラフィックスを使うかどうかの見極め方	35
記事が変わればグラフィックスも変わる	39
Chapter 3 ポイントを理解させるコツ	49
メインポイント	50
第2ポイント	55
論拠となるディテール	57
対象読者に合わせたチューニング	59
4 種類のデザイン戦略	60
キーの使用を避ける	67
ラベルを付ける意味	68
Chapter 4 グラフィックスのための情報収集術	71
ライターへのインタビュー	72
ライターへのティップス	72
図書館や書店に行こう	74
自分だけの情報源を探せ	77

Chapter 5 知っておきたい統計の倫理	81
見方を変えれば真実でなくなる時	82
大暴勝したように見せたいのか?	82
企業の将来を輝かしく見せたいか?	84
傾向を大袈裟に見せたいか?	85
真実のように見えて、嘘があるとき	86
当たり前的事を凄い事だと思わせたいか?	87
ありもしない傾向を見せたいか?	87
調査には真実はないのか?	87
流行を操作したいか?	88
パニックに陥れたいか?	89
人口統計的な差をつくり出したいか?	89
誤差に許容範囲は存在しない	90
無罪だって?	
サンプルフレームを間違えたんじゃないの?	92
真実をすべて伝えない調査も存在する	93
答えではなく設問が問題だ	94
調査を信じてよいのだろうか?	94

Part II テクニック

Chapter 6 ビジュアル的に考えることにしよう	97
心の眼でとらえる	98
記憶のすべてがビジュアルではない	100
言葉を使わずに考えを伝えよう	101
情報であってアイコンではない	102
グラフィックスに関する調査結果	105
Chapter 7 グラフィックスソフトウェア概観	107
マクロメディア・フリーハンド	108
アドビ・イラストレーター	111
クォーク・エクспレスとページメーカー	113

アドビ・フォトショップ.....	114
コーレルドロー.....	116
クラリス・マックドロー.....	117
グラフ作成ソフト.....	118
Chapter 8 コンピュータで描くということ.....	121
ベジェ曲線に戸惑うな.....	124
なぜベジェ曲線を使うのか?.....	127
Chapter 9 高度な描画テクニック.....	129
部分は全体よりも重要だ.....	130
スタートラインに立とう.....	132
チャートにチャレンジ.....	133
塗りつぶし効果を使う.....	134
Chapter 10 グラフィックスの専門用語.....	137
このセリフに代役はいない.....	139
適切なフェイスを選択しよう.....	141
スクリーンを設定しよう.....	144
すばらしいとは限らないカラーの世界.....	146
業界用語を覚えよう.....	148
必要不可欠な要素.....	148
ほとんどすべてに必要な要素.....	149
通常含まれる要素.....	149
必要に応じて使う要素.....	150

Part III フォーム

Chapter 11 グランスボックス.....	151
バイオボックス.....	155
図11.3の作成手順.....	157
ブレイクアウト.....	158
図11.7の作成方法.....	162

ランキング	162
図11.10の作成方法	167
図11.12の作成方法	168
レーティング	169
テーブル	172
Chapter 12 グラフ	177
バーチャート	179
図12.1の作成方法	187
フイーバーチャート	188
パイチャート	198
図12.21の作成方法	204
エリアチャート	206
ピクトグラム	208
グラフ作成ソフトの利用について	210
Chapter 13 マップ	213
ロケーターマップ	216
インセットマップ	222
データマップ	223
スキーマティクスマップ	226
統計地図の様式	228
Chapter 14 ダイアグラム	231
デピクシオン・ダイアグラム	234
図14.1の作成方法	237
スキーマティクス・ダイアグラム	239
インストラクショナル・ダイアグラム	241
図14.4の作成方法	242
カットアウェイ・ダイアグラム	243
図14.6の作成方法	244

Chapter 15 シーケンス	247
タイムライン	250
プロセスグラフィックス	254
Chapter 16 イラストレーション	261

Part IV 専門知識

Chapter 17 統一感のあるデザインに いかにグラフィックスを組み込むか	265
マエストロコンセプト	267
マエストロセッションの選用方法	269
優れたデザインへの10のステップ	271
Chapter 18 グラフィックス、デザイン、法律の微妙な関係	273
あなたは名誉毀損の対象か?	274
あまりにもグラフィックスらしい グラフィックスの場合	276
スキヤニングから裁判に到る道	277
奥様、事実だけを述べてください	279
日常的な事例	282
Chapter 19 インターネットにおけるグラフィックスの役割	285
初心者のためのHTMLガイド	288
フォーマッティングの基本	288
タイポグラフィの管理	288
ほかのセクションやページにジャンプするには	289
オンラインアドレスの仕組みを理解する	289
安心して使える高度なコード	290
ページレイアウトの設定	291

Appendix A 推奨関連資料	299
一般・政治	299
航空と軍事	300
気象と天気	300
人口動態	300
経済	301
健康と医療	301
スポーツ	301
テクノロジー	301
他の統計関連情報源	302
Appendix B 調査の詳細	303
Appendix C 参考文献一覧	309
訳者あとがき	315
英・和訳対照表	316
索引	319